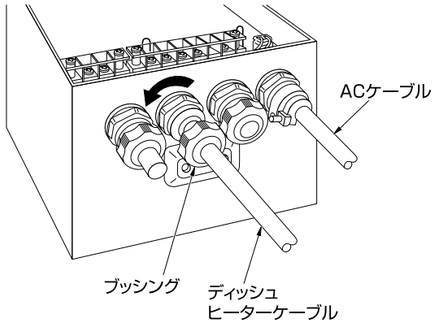
取付方法

⑦ヒーターケーブルの取付

（ヒーターケーブルは融雪用アンテナに付いています。）

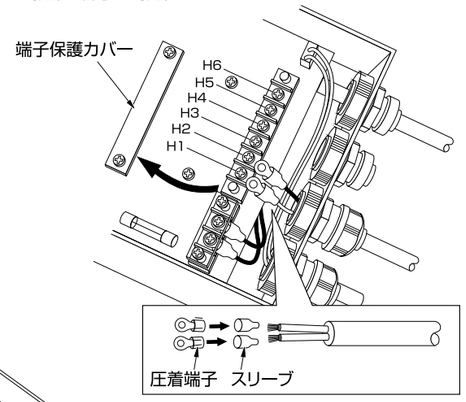
①ケーブルの取付

電源供給器本体のヒーターケーブルを入力する防水コネクターのブッシングをゆるめ、ケーブルを通します。



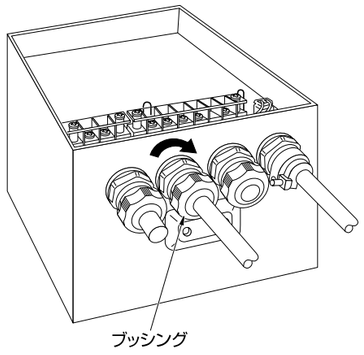
②圧着端子の取付

通したケーブルを圧着しやすい長さまで引き、ヒーターケーブルに圧着端子・スリーブ（電源供給器本体に付属）を圧着して端子保護カバーをはずし、ヒーター接続端子に接続します。



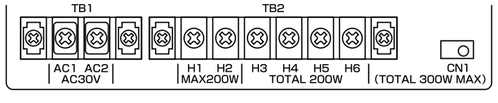
③ケーブルの固定

ヒーターケーブルの長さを決めたら、防水コネクターのブッシングを締めて、ケーブルを固定してください。端子保護カバーも元の位置につけてください。



⑧ヒーターケーブルの接続

●ヒーター接続端子　H1−H2間にヒーターケーブルを接続
●ヒーター接続端子　H3−H4間は予備端子
●ヒーター接続端子　H5−H6間は予備端子
●ヒーター接続端子　最大負荷
　H1−H2間　200W
　H3−H4間･H5−H6間　合計で200W
　（但し、総TOTAL　300W以内）



メンテナンス

いつまでも美しい映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に保守点検をご依頼ください。

QT426-2

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
平成19年4月改訂

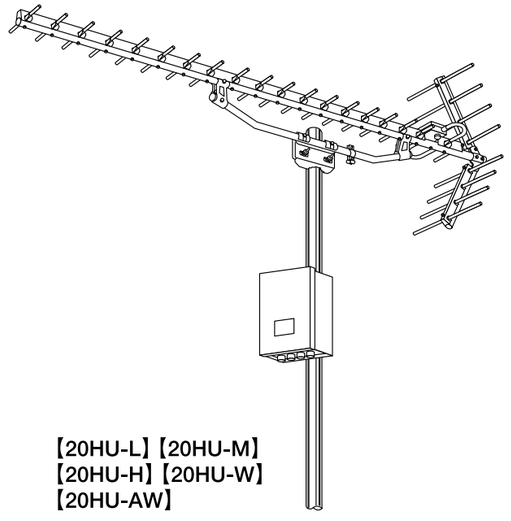
日本アンテナ

取扱説明書

このたびは日本アンテナ製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

●ご使用前にこの取扱説明書と融雪アンテナ用電源供給器の取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●この取扱説明書と融雪アンテナ用電源供給器の取扱説明書と一緒に保管いただき、ご使用後はいつでも見られるところに必ず保存してください。



【20HU-L】【20HU-M】
【20HU-H】【20HU-W】
【20HU-AW】

テレビ共同受信用 UHFアンテナ

〈融雪ヒーター付〉

種類	素子数	仕様	型名
UHF低域用	20素子	アルミニウム	**20HU-L**
UHF中域用	20素子	アルミニウム	**20HU-M**
UHF高域用	20素子	アルミニウム	**20HU-H**
UHF中高域用	20素子	アルミニウム	**20HU-W**
UHF全帯域	20素子	アルミニウム	**20HU-AW**

目　次

表紙　説明の始まるページ
〔取扱説明書〕
取扱上のご注意……1
安全上のご注意……2
アンテナの特長……3
性能規格……3
各部の名称……3
〔施工説明書〕
関連法規……4
設置上のご注意……4
設置完成例……4
用意する工具およびテープ類……5
構成部品……5
取付方法……6
メンテナンス……8

取扱上のご注意　アンテナの取付けや設置工事は、強度上の安全性確保のため、専門の技術者または、専門業者にご依頼ください。

QT426-2

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠	△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
⊘	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。
●	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告 この表示を無視したり、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ●雷が鳴りだしたら、アンテナやケーブルには触れないでください。感電の原因となります。 ⊘

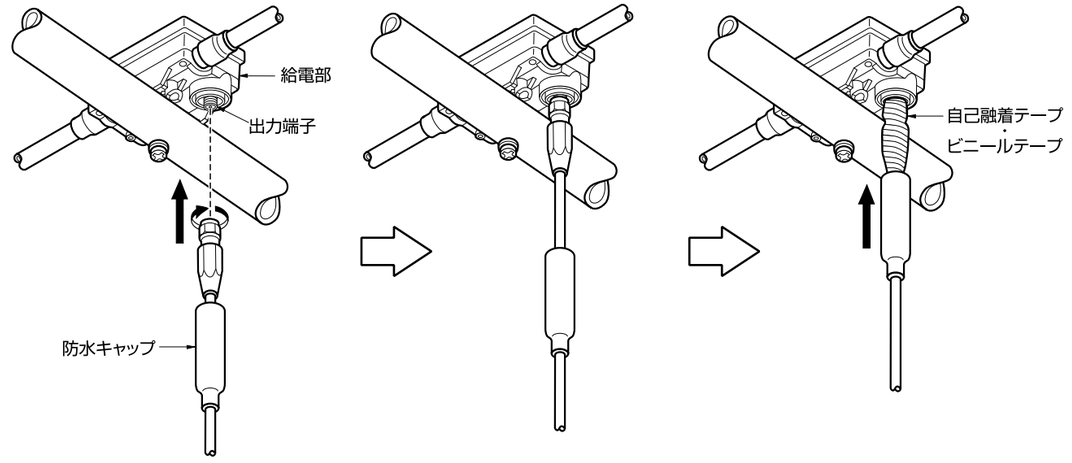
⚠注意 この表示を無視したり、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ●台風の後などは、アンテナや取付金具に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがの原因になることがあります。点検は、専門の技術者または専門業者にご相談ください。 ⚠
- ●アンテナや取付金具などに洗濯物や他のものを掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。 ⊘
- ●マンションやアパートなどによっては、取付けに規制のあるところがあります。管理組合や管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取付けてください。 ⚠
- ●指定の電源供給器以外でご使用にならないでください。 ⊘
- ●アンテナに組付いているヒーターを取りはずしたりしないでください。故障の原因となります。 ⊘
- ●無駄な電力を消費しないよう、夏場など使用しない時は電源スイッチをOFFにすることをお薦めします。 ⊘
- ●持運びの際、アームから出ているヒーターケーブルを引っ張ったり、ぶらさげたりしないでください。故障の原因となります。 ⊘
- ●設置テストは、30秒以上連続しておこなわないでください。常温時での設置テストをおこない続けますと、ヒーターが過度に高熱を発し、ヒーター破損の原因となるほか、火傷の恐れがありますので十分にご注意ください。 ⚠

取付方法

④給電部への同軸ケーブル取付と防水処理方法

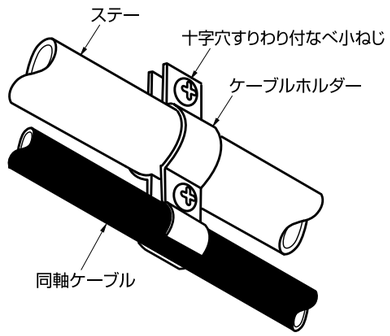
同軸ケーブルを給電部の出力端子に接続し、スパナなどを用いて締付けます。このときの接栓の締付けトルクの目安は約2.0N・m（20kgf・cm）です。締付け後、防水キャップを奥に突き当たるまで、しっかり挿入して完了です。また、塩害地、雨の多い地域では、雨水の浸入を防ぎ、性能を維持するため、防水キャップを取付ける前に別売の自己融着テープを巻き、さらにビニールテープを巻きつけた後、防水キャップを取付けることをおすすめします。



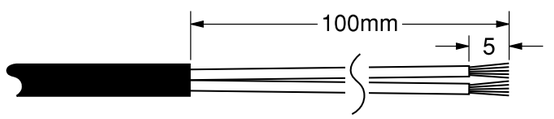
⑤ケーブルホルダーの使用方法

ケーブルホルダーの十字穴すりわり付なべ小ねじ2本をゆるめ、図のように同軸ケーブルを挟み、しっかり締付けてください。

※ねじの締付トルクの基準
1.0～1.5N・m（10～15kgf・cm）



⑥融雪ヒーター用ケーブルの加工方法



※お買い求めの製品にはヒーターケーブルの加工はされておりますが、再加工が必要となったときは、図のように加工してください。

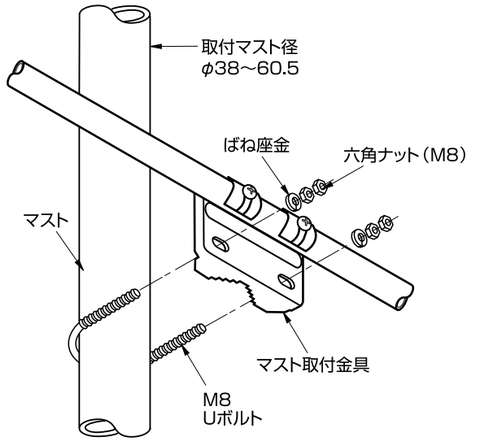
※ヒーターケーブルの長さは5mですので、電源供給器を取付ける際はヒーターケーブルの十分届く範囲に設置してください。

取付方法

①～⑧の手順で取付けてください。

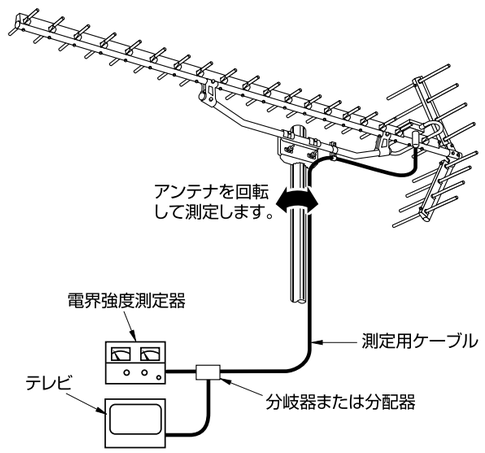
①マストへの取付

マスト取付金具にUボルトを図のように差し込みます。次にUボルト、マスト取付金具、ばね座金の順に挿入し、各2個ずつの六角ナットを所定の締付トルクで固定してください。



六角ナットの締付トルク	
M8	12.7～13.1N･m（130～134kgf･cm）

②アンテナの調整方法



①測定用ケーブルを給電部に接続します。

②電界測定器のメーターが最大になる位置にアンテナのマストを回転させてください。

③テレビ画像を確認し、希望している電波が受信され、良好な画像であれば調整は完了です。

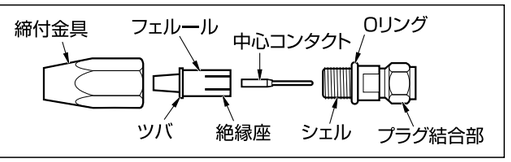
④調整が完了したら、マストを固定してください。

③同軸ケーブルの加工とコネクターの取付

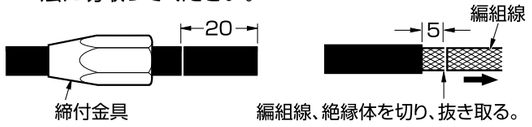
同軸ケーブルは5C-2V、7C-2V相当以上のJIS規格品をお勧めします。
また、接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形の防水接栓をご使用ください。

防水接栓の構造（別売品）

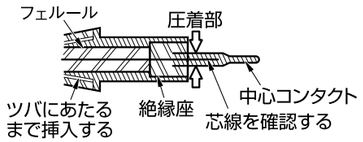
（単位：mm）



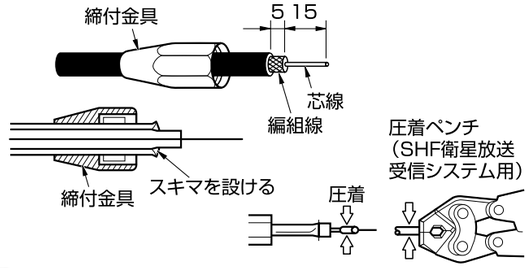
1 あらかじめ締付金具をケーブルに通しておきます。外被をナイフなどで取除き、編組線、絶縁体を指定寸法に切取ってください。



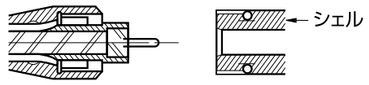
2 フェルールを編組線と絶縁体の間に差し込み、次に中心コンタクトを芯線に取付けます。できるだけ絶縁座に近づけて端子を圧着してください。



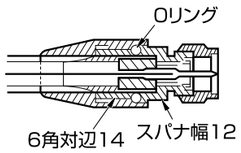
3 圧着ペンチで芯線と中心コンタクトを固定します。



4 モンキーレンチでシェルを締めつけます。



5 Oリングがかくれていることを確認します。



⚠ 注意

屋外に設置する場合は、屋外用の防水接栓をご使用ください。

アンテナの特長

●本器には受信チャンネル別に低域用、中域用、高域用、中高域用、全帯域用の5タイプありますので、受信地域や受信システムに応じてご使用いただけます。

●給電部は強靭で高周波特性の優れた合成樹脂を採用、また、耐候性、耐衝撃性に優れています。

●スタック型反射器により、電力半値幅、前後比に優れ、動作利得や電圧定在波比なども優れ、共同受信アンテナとして最適です。

●強固なマスト取付金具を備え、アンテナをバランスよく支持していますので、安定した設置ができます。

性能規格

●アンテナ部

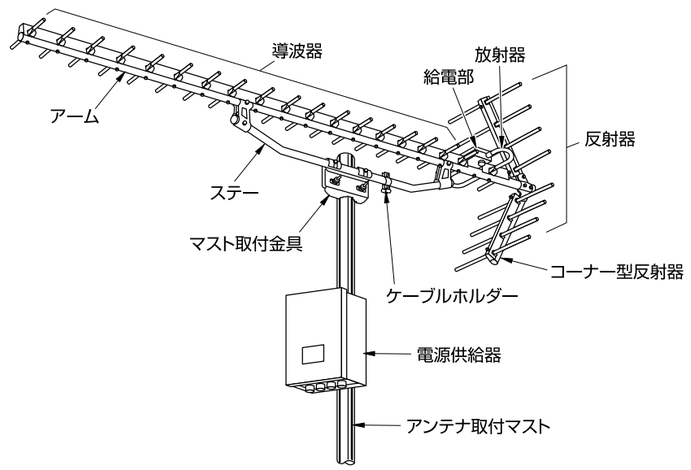
品名	UHF低域用20素子（ch13～30）	UHF中域用20素子（ch31～44）	UHF高域用20素子（ch45～62）	UHF中高域用20素子（ch30～62）	UHF全帯域用20素子（ch13～62）		
型式	20HU-L	20HU-M	20HU-H	20HU-W	20HU-AW		
素子数	20	20	20	20	20		
使用周波数（MHz）	470～578	578～662	662～770	572～770	470～578	578～662	662～770
使用チャンネル	13～30	31～44	45～62	30～62	13～62		
インピーダンス（Ω）	75	75	75	75	75		
動作利得（dB以上）	8.0	10.0	9.0	9.0	6.5	8.5	9.0
前後比（dB以上）	15	18	15	17	15		
電圧定在波比	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5		
半値幅（度以下）	50	40	50	43	55	50	50
受風面積（㎡）	0.225	0.221	0.213	0.218	0.223		
耐風圧	風速45m／secに相当する風圧（風圧が加わっている間、飛散に相当する破壊がないこと）						
適合マスト径（mm）	直径38～60.5						
質量（kg）	4.3	4.2	3.7	3.9	4.2		
外形寸法（mm）	1974×362×543	1974×312×543	1944×272×543	1974×312×543	1974×362×543		

●ヒーター部

品名		UHF低域用20素子（ch13～30）	UHF中域用20素子（ch31～44）	UHF高域用20素子（ch45～62）	UHF中高域用20素子（ch30～62）	UHF全帯域用20素子（ch13～62）
型名		20HU-L	20HU-M	20HU-H	20HU-W	20HU-AW
融雪作動温度範囲（℃）		8以下				
電力（W）		150	150	150	150	150
融雪ヒーター使用気象条件（能力）	風速	10m／sec以下				
	降雪強度	8cm／h以下				
本融雪装置は、気象条件によって十分に融雪できない場合があります。						

※製品改良のため、外観・仕様の一部を予告なく変更することがあります。

各部の名称



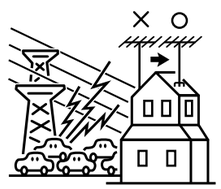
施工説明書

関連法規　この製品は有線テレビジョン放送法などが適用されます。

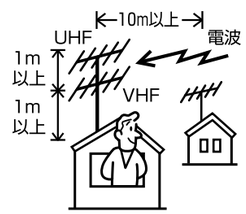
設置上のご注意

下記の注意事項をお守りください。

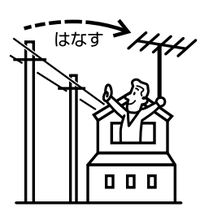
建物や樹木などの陰はさけ、見通しのよい場所を選んでください。



交通量の多い道路、ネオン、高圧線などからできるだけ離してください。

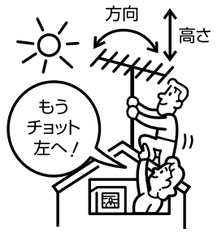


他のアンテナとのキョリはできるだけ離してください。



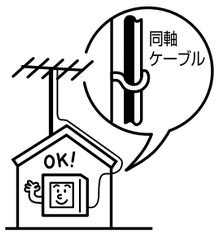
電灯線に触れないようにできるだけ離してください。

アンテナ設置の際、アンテナ素子などでケガをしないよう十分に注意してください。



アンテナは良好な画像が得られる場所、方向、高さを選んでください。

アンテナを設置する場合は、安全のためにしっかりした足場を確保した上で作業してください。



同軸ケーブルは、トイや屋根などに触れないようにしてください。

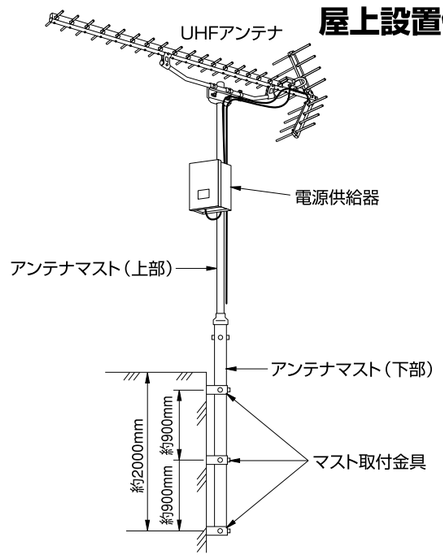
⚠ 融雪アンテナ用電源供給器設置の際は、必ず融雪アンテナ用電源供給器の取扱説明書をよくお読みいただき、確実に設置してください。

⚠ **設置場所の配慮**

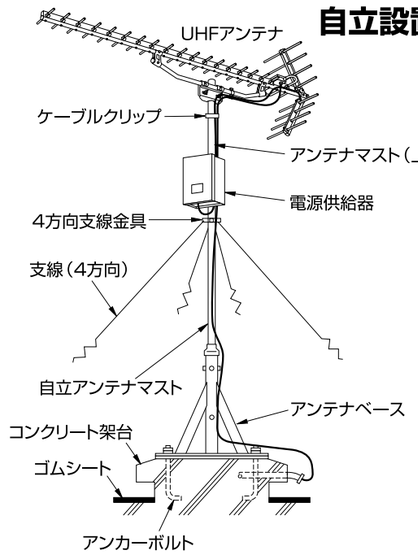
- 融雪ヒーター付アンテナは通常のアンテナと比べ、つららができやすくなっています。暖かい日はそのつららが落下し、下方の人にけがを負わせる場合がありますので、下方に人通りがある場所での設置は避けてください。
- 設置するときは、設置場所（地面など）からの積雪も考慮に入れて、アンテナや電源供給器が雪に埋もれることのないよう、十分高い位置に取付けてください。

設置完成例

屋上設置例



自立設置例



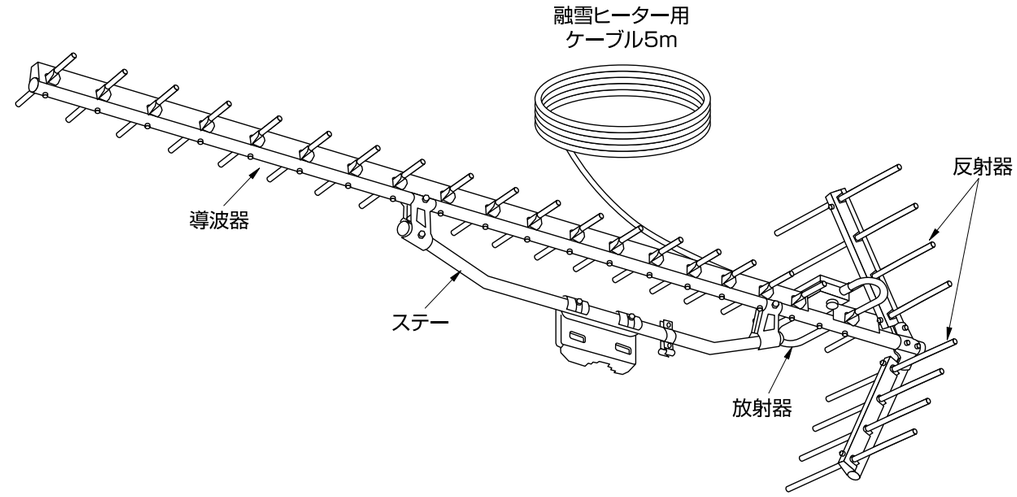
用意する工具およびテープ類

●プラスドライバー（大）　●スパナ　●はさみ　●ナイフまたはカッター　●トルクレンチ
●圧着ペンチ　●ペンチ　●ニッパー　●自己融着テープ　●ビニールテープなど

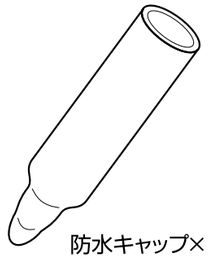
構成部品

下記の部品で構成されています。開封時に欠落部品がないかをご確認ください。

アンテナ本体一式

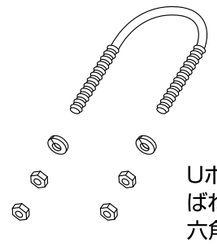


付属品



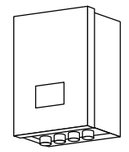
防水キャップ×1

マスト取付用部品



Uボルト（M8）×1
ばね座金（M8）×2
六角ナット（M8）×4

融雪アンテナ用電源供給器



1セット
Model PS-800